



〔稿文〕

文政十二丑年

伊能吉智

平次右衛門  
妻後妻  
吉智

元文五庚申生  
寛政九巳九月廿二日死

厚譽行年五十八歳死

天明四辰九月廿九日死

寬保二戌生

母

田中水八貞行妹  
妻後妻  
吉智  
宗賢母也

量譽行年四十三

天明四辰九月廿九日死

是ハ追而改へし

母

吉智先妻  
順均母也  
田中貞行妹

相譽行年

宝曆七未六月廿三日

④0 伊能家過去帳写

文政 12 年 (1829)

「過去帳」とは、死者の戒名、死亡年月日、俗名、世帯主との続柄、行年などを記載する帳簿のことです。檀家の回向のための帳簿として、菩提寺によって管理されます。また、江戸時代において過去帳は、宗門人別改帳とともに檀家を掌握するための基本台帳でもありました。さらに、過去帳には死因として疫病や自然災害、戦役が記される場合もあり、当時の状況や人口動態を知ることができます。

伊能光雄家文書 P8003 №.776-1

(吾妻郡東吾妻町岩井)

順均  
寶曆七年生  
大明七末六月立記

伊能平次右衛門

寶曆七丑生

順均  
天明七未六月五日死

清與言行年三十

寶歷七年生

宋益 加之子 宋曆九印生  
多貞廣 四月廿四日  
行年四十二

寶曆九卯生

卷之三

享和元酉九月十一日

卷之三

寶曆七巳生  
享年七十  
壬辰歲九月十二日死

寶曆七丑生

文政十二年正月  
宗賢金性 安永四未生

文政九戌四月十二日死  
蓮譽  
主母堀口善助養女也  
出生或爰國今丁  
行年七十

文政十二年五月十五日

宗賢  
金性 安永四未出生

同上  
安永四年  
主家病死于日本

同年造五十一

安永八  
己亥  
出生

平之物，而文化之已生

同十五

文化十一  
乙亥生

日  
久  
本  
文  
政  
次  
生

くん  
木

文政六癸未生

如大在松 天性已卯 生

幼名友松 天明三卯生

文政十二年八月廿七日死

卷之三

仁德先生  
天啓丙午

行年三十四

文政三辰八月十一日